

# リビング・アース戦略ファンド (年2回決算コース)

## 第1期運用報告書 (全体版) (決算日 2016年12月15日)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2016年6月22日から2026年6月15日まで	
運用方針	安定した配当収入の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	円建ての外国投資証券である「セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン・キャットボンド (クラスB JPY)」および国内の証券投資信託である「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。	
	セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン・キャットボンド (クラスB JPY)	主としてCATボンドに投資を行い、安定的なインカム収益の獲得と信託財産の成長を目指して運用を行います。
	マネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時(6月、12月の各15日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

### お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。  
さて、「リビング・アース戦略ファンド(年2回決算コース)」は、2016年12月15日に第1期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<http://www.tdasset.co.jp/>

## 設定以来の運用実績、基準価額の推移等

### 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	セキユリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ ポートフォリオ・ セブソン・ キャットボンド (クラスB JPY) 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率				
設定日	円	円	%	%	%	%	百万円
2016年6月22日	10,000	—	—	—	—	—	464
1期(2016年12月15日)	10,220	0	2.2	—	—	94.5	2,728

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

### 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	セキユリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ ポートフォリオ・ セブソン・ キャットボンド (クラスB JPY) 組入比率
	騰 落 率				
設定日	円	%	%	%	%
2016年6月22日	10,000	—	—	—	—
6月末	10,001	0.0	—	—	94.8
7月末	10,044	0.4	—	—	94.8
8月末	10,099	1.0	—	—	94.9
9月末	10,194	1.9	—	—	94.9
10月末	10,213	2.1	—	—	94.8
11月末	10,239	2.4	—	—	93.7
期 末					
2016年12月15日	10,220	2.2	—	—	94.5

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は設定日比。

(注) 設定日の基準価額には、当初元本を用いております。

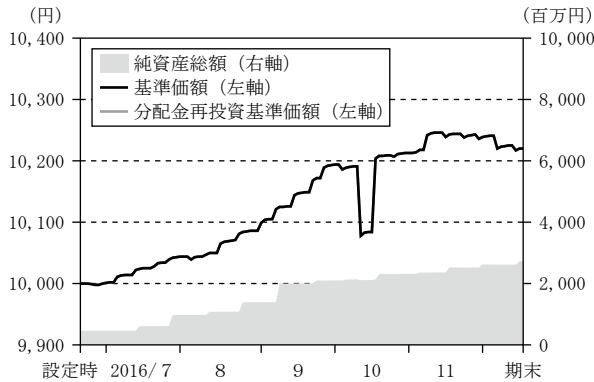
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額等の推移



設定日：10,000円

第1期末：10,220円（既払分配金0円）

騰落率：2.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2016年6月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

### ■ 基準価額の主な変動要因

主に高位に組入れている外国籍ファンド「セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブンキャットボンド（クラスB JPY）」の騰落率がプラスとなったことにより、当該ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

### ■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブンキャットボンド（クラスB JPY）	3.0%
マネーアカウントマザーファンド	△0.0

### ■ 投資環境

#### 【災害動向・キャットボンド市況】

期初から2016年9月中旬まで、北米ではハリケーン発生は限定的でした。一方で同期間中に太平洋地域では複数の台風が発生し、大きな爪痕を残したものもありました。また、8月にイタリア中部でマグニチュード6.2の地震があり、多くの人命や建物の被害が発生しました。しかし、これらの災害はCATボンドに対しては大きな影響を与えませんでした。9月末にカテゴリー5のハリケーン「マシュー」が発生し、特にハイチでは多くの死亡者を出すなどの甚大な被害が発生しました。10月にハリケーン「マシュー」による影響が懸念されて、一時大きく値を下げましたが、その後想定されたような被害にならないとの見方が広がり急速に債券価格が回復しました。11月以降は損失につながるような大規模災害は限定的で、ニュージーランドで発生したマグニチュード7.8の地震により建物等の損傷被害があったものの、人口密度の低い都市であったため、被害およびCATボンドへの影響は限定的でした。

## 【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは低下しました。期初は $\Delta 0.25\%$ でしたが、2016年9月に日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定するなど、短期金利を低位に抑える金融政策が継続したこと、海外投資家の国庫短期証券に対する需要の高まりなどから国庫短期証券利回りは低下、期末は $\Delta 0.43\%$ となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

### 【当ファンド】

期を通じて、「セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド(クラスB JPY)」に概ね94~95%程度、「マネーアカウントマザーファンド」に0~0.02%程度投資を行いました。

### 【セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド(クラスB JPY)】

「セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド(クラスB JPY)」では、主に米国の災害に関するCATボンドに投資を行いました。

### 【マネーアカウントマザーファンド】

国債の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%となりました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

## ■ 分配金

1万口当たりの分配金(税込み)は分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ■ 今後の運用方針

### 【当ファンド】

引続き「セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド（クラスB JPY）」の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「マネーアカウントマザーファンド」への投資も継続する方針です。

### 【セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド（クラスB JPY）】

「セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド（クラスB JPY）」では、リスク・リターンを考慮し、且つポートフォリオに分散効果を与えるC A Tボンドの銘柄を厳選して投資を行います。

### 【マネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、景気の基調がしっかりしているとは言えず、今後も不安定な状況が続くと見られます。このような状況下では、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いと予想します。日銀が導入した「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は引続き低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2016年6月22日から2016年12月15日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2016/6/22~2016/12/15		
	金額	比率	
平均基準価額	10,131円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (  信託会社) (  販売会社)  (  受託会社)	65円 (  32) (  32)  (  2)	0.644% (0.314) (0.314)  (0.016)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (  監査費用)	1 (  1)	0.007 (0.007)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	66	0.651	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

※その他費用(その他)は計上していませんが、13ページに記載しているマネーアカウントマザーファンドの1万口当たりの費用明細には、当ファンドの作成対象期間外に発生した金銭信託に係る手数料をその他費用(その他)に計上しています。

売買および取引の状況 (2016年6月22日から2016年12月15日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	セキュリス II ファンド-SPC セグリ ゲイテッド・ポートフォリオ・セブン -キャットボンド(クラスB JPY)	口	千円	口	千円
		255,783	2,587,000	—	—

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネーアカウントマザーファンド	千口	千円	千口	千円
	99	100	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2016年6月22日から2016年12月15日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2016年12月15日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ア ン ド 名	当 期		末
	口 数	評 価 額	比 率
セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ ポートフォリオ・セブンキャットボンド (クラスB JPY)	255,783	2,579,097	94.5

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期		末
	口 数	評 価 額	額
マネーアカウントマザーファンド	99	千円	千円 99

(注) マネーアカウントマザーファンド全体の受益権口数は1,488,250千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2016年12月15日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ ポートフォリオ・セブンキャットボンド (クラスB JPY)	2,579,097	94.2	千円 %
マネーアカウントマザーファンド	99	0.0	
コール・ローン等、その他	159,972	5.8	
投資信託財産総額	2,739,168	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,739,168,089円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	159,970,167
セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイ テッド・ポートフォリオ・セブンキャット ボンド(クラスB JPY)(評価額)	2,579,097,962
マネーアカウントマザーファンド(評価額)	99,960
(B) 負 債	10,814,209
未 払 信 託 報 酬	10,693,064
未 払 利 息	259
そ の 他 未 払 費 用	120,886
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,728,353,880
元 本	2,669,518,418
次 期 繰 越 損 益 金	58,835,462
(D) 受 益 権 総 口 数	2,669,518,418口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,220円

- (注) 設定時元本額 464,141,849円  
 期中追加設定元本額 2,205,376,569円  
 期中一部解約元本額 0円  
 (注) 1口当たり純資産額は1,0220円です。

### 損益の状況

当期 自2016年6月22日 至2016年12月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 收 益	50,830,480円
受 取 配 当 金	50,873,960
支 払 利 息	△ 43,480
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 7,902,078
売 買 損 益	△ 7,902,078
(C) 信 託 報 酬 等	△10,813,950
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	32,114,452
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	26,721,010
(配 当 等 相 当 額)	( 3,333,806)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 23,387,204)
(F) 合 計(D+E)	58,835,462
(G) 收 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	58,835,462
追 加 信 託 差 損 益 金	26,721,010
(配 当 等 相 当 額)	( 3,333,806)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 23,387,204)
分 配 準 備 積 立 金	40,016,530
繰 越 損 益 金	△ 7,902,078

- (注) 損益の状況の中で  
 (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。  
 (C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

### 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(40,016,530円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)および収益調整金(18,818,932円)より、分配対象収益は58,835,462円(1万口当たり220円)となりましたが、当期の分配は見送らせていただきました。

## 分配金のご案内

### 分配金および分配原資の内訳 (単位:円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2016年6月22日 ～2016年12月15日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	220

- (注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。  
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 補足情報

### マネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

### マネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

<ご参考>

## 組入投資信託証券の内容

セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド（クラスB JPY）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資証券／円建
基本運用方針 主な投資対象	主としてCATボンドに投資を行い、安定的なインカム収益の獲得と信託財産の成長を目指して運用を行います。
投資態度	①主としてCATボンドを投資対象とし、安定した投資成果の享受を目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 ③資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借入れは行いません。
分配方針	平成28年11月28日を起点として、原則として、2月、5月、8月および11月の最終ディーリング日に分配を行います。（休業日の場合は翌外投営業日） 「ディーリング日」とは、外国投資証券のディーリング日を指し、平成28年7月11日を起点とする隔週の月曜日のことをいいます。当該ディーリング日がファンド取引不可日の場合は翌ファンド取引日とします。
投資顧問会社	セキュリス・インベストメント・パートナーズ・エルエルピー

### 《お知らせ》

2016年12月15日現在、「セキュリス II ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド（クラスB JPY）」は第1期決算を迎えておりませんので、開示対象となる情報はありません。

## マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第14期（決算日 2016年12月12日）  
（計算期間 2016年6月11日から2016年12月12日まで）

「マネーアカウントマザーファンド」は、2016年12月12日に第14期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

### 最近5期の運用実績、基準価額の推移等

#### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落中率			
10期（2014年12月10日）	10,038	0.0	21.5	—	百万円 650
11期（2015年6月10日）	10,038	0.0	9.6	—	417
12期（2015年12月10日）	10,038	0.0	54.5	—	1,055
13期（2016年6月10日）	10,037	△0.0	—	—	1,019
14期（2016年12月12日）	10,033	△0.0	—	—	1,383

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率		債券組入比率 %	債券先物比率 %
		騰 落	率		
期首 (前期末) 2016年 6 月 10 日	10,037	—	%	—	—
6 月末	10,037	0.0	%	—	—
7 月末	10,036	△0.0	%	—	—
8 月末	10,035	△0.0	%	—	—
9 月末	10,035	△0.0	%	—	—
10 月末	10,034	△0.0	%	—	—
11 月末	10,033	△0.0	%	—	—
期 末 2016年 12 月 12 日	10,033	△0.0	%	—	—

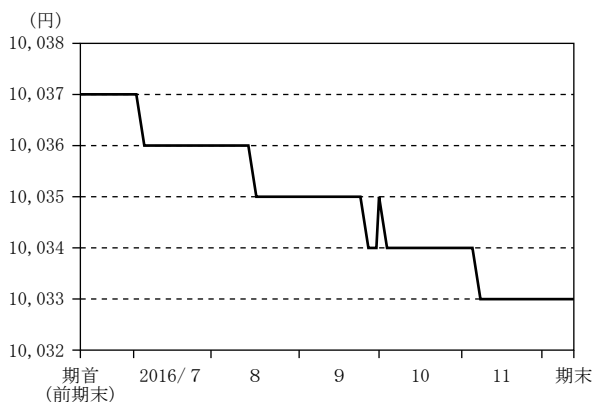
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額の推移



### ■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,037円からスタートし、期末は10,033円となり下落しました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから、下落となりました。

## ■ 投資環境

### 【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは低下しました。期初は $\Delta 0.27\%$ 程度でしたが、2016年9月に日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定するなど、短期金利を低位に抑える金融政策が継続したこと、海外投資家からの需要の高まりなどから利回りは低下し、期末は $\Delta 0.44\%$ 程度となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

国債の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%となりました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

## ■ 今後の運用方針

日本経済は、景気の基調がしっかりしているとは言えず、今後も不安定な状況が続くと見られます。このような状況下では、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いと予想します。日銀が導入した「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は引続き低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2016年6月11日から2016年12月12日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2016/6/11~2016/12/12	
	金額	比率
平均基準価額	10,035円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.001% (0.001)
合計	0	0.001

(注) 費用項目につきましては、5ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

売買および取引の状況 (2016年6月11日から2016年12月12日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2016年6月11日から2016年12月12日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2016年12月12日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2016年12月12日現在)

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,423,137	100.0
投資信託財産総額	1,423,137	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,423,137,578円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,423,137,578
(B) 負 債	40,002,800
未 払 解 約 金	40,000,000
未 払 利 息	2,800
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,383,134,778
元 本	1,378,631,963
次 期 繰 越 損 益 金	4,502,815
(D) 受 益 権 総 口 数	1,378,631,963口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,033円

(注) 期首元本額 1,015,994,779円  
 期中追加設定元本額 4,453,442,800円  
 期中一部解約元本額 4,090,805,616円

(注) 1口当たり純資産額は1,0033円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳  
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) 円ヘッジコース 72,728,542円  
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) 米ドルブルコース 12,370,307円  
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) 米ドルベアコース 810,623円  
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) ユーロブルコース 513,290円  
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) ユーロベアコース 4,305,187円  
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) 豪ドルブルコース 88,421,400円  
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) 豪ドルベアコース 71,263円  
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) レアルブルコース 22,699,483円  
 T&D通貨トレード新興国社債F (毎月分配型) ルピアブル  
 T&D J リートファンド限定追加型1402 1,196,351円  
 T&Dブル・ベア・ファンド (南アランド・ブル・コース) 49,811円  
 T&Dブル・ベア・ファンド (南アランド・ベア・コース) 49,811円  
 T&Dブル・ベア・ファンド (ブラジルレアル・ブル・コース) 49,811円  
 T&Dブル・ベア・ファンド (ブラジルレアル・ベア・コース) 49,811円  
 T&Dブル・ベア・ファンド (インド株・ブル・コース) 49,811円  
 T&Dブル・ベア・ファンド (インド株・ベア・コース) 49,811円  
 T&Dブル・ベア・ファンド (中国株・ブル・コース) 49,811円  
 T&Dブル・ベア・ファンド (中国株・ベア・コース) 49,811円  
 T&Dブル・ベア・ファンド (原油指数・ブル・コース) 49,811円  
 T&Dブル・ベア・ファンド (原油指数・ベア・コース) 49,811円  
 T&Dブル・ベア・ファンド (米国リート・ブル・コース) 49,811円  
 T&Dブル・ベア・ファンド (米国リート・ベア・コース) 49,811円  
 T&Dブル・ベア・ファンド (マネーボール・コース) 896,593円  
 リビング・アース戦略ファンド (年2回決算コース) 99,632円  
 リビング・アース戦略ファンド (年4回決算コース) 99,632円  
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (インド・ダブルブル5) 19,931円  
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (インド・ダブルベア5) 19,931円  
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (中国・ダブルブル5) 19,931円  
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (中国・ダブルベア5) 19,931円  
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (レアル・ダブルブル5) 19,931円  
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (レアル・ダブルベア5) 19,931円  
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (金・ダブルブル5) 19,931円  
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (金・ダブルベア5) 19,931円  
 T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5 (マネーボール5) 1,172,926,724円

### 損益の状況

当期 自2016年6月11日 至2016年12月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 430,839円
支 払 利 息	△ 430,839
(B) そ の 他 費 用	△ 14,263
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 445,102
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	3,779,419
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	15,397,200
(F) 解 約 差 損 益 金	△14,228,702
(G) 合 計 (C + D + E + F)	4,502,815
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	4,502,815

(注) 損益の状況の中で

(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。